

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	財政局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	納税課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2222
	基本事業	健全な財政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	ふるさと高松応援寄附促進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	ふるさと高松応援寄附促進に係る事務		
30年度概要	ふるさと納税制度の趣旨を踏まえ、ふるさと高松応援寄附制度を、魅力あるものとし、より多くの方々から応援・寄附していただけるよう努める。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


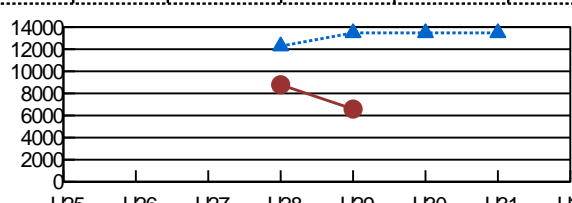

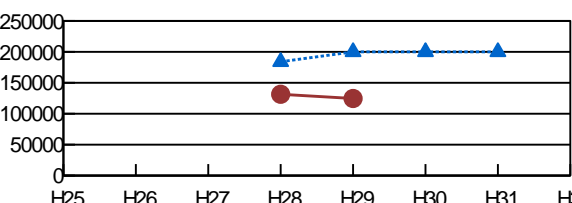
【事業の目的】

対象(何を)	ふるさと納税制度を活用し、高松市に対して寄附をした人
意図(どのような状態にしたいか)	高松市が取り組んでいくまちづくりを応援していただけるよう、寄附金対象事業を積極的にPRすることで、寄附者を増やしていく。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
ふるさと高松応援寄附金使途対象事業選択数	件		3,213	1,772	6,415	6,415

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
ふるさと納税寄附人数	人	目標値		12,279	13,478	13,478	13,478
		実績値		8,783	6,581		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) お礼品競争の過熱に対する国の通知があったことにより、返礼割合が国の通知の基準を超えるものへのかけこみなどに押され、目標、前年度実績ともに大きく下回った。 			(達成度) 48.8% 17点				
ふるさと納税寄附金額	千円	目標値		184,000	200,000	200,000	200,000
		実績値		131,455	124,617		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 寄附人数は前年に比べ大きく減となったが、新たなお礼品の採用等により1件当たりの寄附金額が伸びたため、寄附金の総額は前年比5%減にとどめることができた。 			(達成度) 62.3% 21点				

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	22,698	67,542	69,659	69,907
(事業費)	[千円]	18,859	55,765	58,278	58,526
(職員人件費)	[千円]	3,839	11,777	11,381	11,381

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
より多くの方々から応援していただけるよう、寄附金使途となる事業をホームページ等を活用し、積極的にPRするとともに、制度の趣旨に沿ったお礼品の見直しと新しいお礼品の開拓を行った。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
ふるさと納税制度の趣旨を踏まえ、お礼品の見直しや新しいお礼品の開拓等を行うことで、本市ふるさと高松応援寄附制度を、魅力あるものとしていく。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	競輪場事業課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-851-5036
	基本事業	健全な財政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	競輪事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	本事業は、自転車競技法に基づく公営競技であり、開催者は地方自治体である。運営統括を公益財団法人JKAが行い、車券売上の75%が配当金に充てられ、残りの25%から(公財)JKAへの納付金・運営委託費及び選手賞金等の開催運営に差引いた残りが収益金となる。市の一般会計へ繰出しを行っている。また、(公財)JKAは、自転車競技法に基づく競輪振興法人として、競輪の収益を広く社会に還元し、社会貢献を果たすため本市を始めとする自治体からの納付金を機械工業振興の補助、公益事業振興の補助に充てている。		
30年度概要	本場 記念 1節 4日 FI 6節 18日 F 6節 18日 MD 4節 12日 場外 29日		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	市民
意図(どのような状態にしたいか)	(公財)JKAを通じて競輪収益による自転車その他機械の改良や輸出の振興など機械工業振興及び体育事業など公益事業振興を図るとともに、本市財政の健全化を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
本場・場外開催日数	日		351	348	351	

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
車券発売収入	千円	目標値		14,420,000	13,053,108	11,320,000	
		実績値		13,800,340	12,833,475		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 記念競輪(G)の開催が、目標額を下回ったが、その他のF、F、ミッドナイト競輪については概ね目標額を上回った。	6000000 4000000 2000000 0	(目標達成度)					(達成度) 98.3% 34点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	12,262,221	13,906,424	13,267,424	11,701,592
(事業費)	[千円]	12,162,420	13,804,361	13,168,793	11,602,961
(職員人件費)	[千円]	99,801	102,063	98,631	98,631

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

本事業は、売上の向上やコストの縮減などの経営努力により、平成24年度以降継続して一般会計へ繰出しを行っている。そのため、本市の健全な財政運営の推進に必要であり、事業の継続は妥当である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

臨時従事員の退職者の補充を、引き続き行わないとともに、業務契約の見直しによるコストの縮減を継続して行う。